

令和5年度 大浦小学校 学力向上プラン

学校教育目標：大浦を愛し 人とつながり 世界につながる

進んで学び、互いに高め合う子ども 【思考力、判断力、表現力等の育成】

- 自分の考えを伝え、友達の考えを聞き、さらに自分の考えを深める。
- グループで考えたり調べたりし、発表したりすることで、考えを深める。

筋道を立てて自分の思いや考えを伝えることができる力の育成

誰に対しても優しく、正しい子ども 【学びに向かう力・人間性の涵養】

- 授業を振り返り、学んだことやできるようになったことを、次につなげる。
- 自分の変容や成長を確かめながら、目標をもって努力する。

自分の思いや考えを進んで伝えようとする意欲や態度の育成

困難に立ち向かい、努力する子ども 【知識及び技能の習得】

- 「できた」「わかった」の体験を通して、知識・技能を身に付ける。
- 分からなかった問題はそのままにせず解決する。

筋道を立てて考えるためのスキルの習得



—徹底・継続— 「進んで学び、互いに高め合う子の育成」

～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた算数科指導を通して～

重点目標

- 【低】 絵や図、半具物体などの操作を通して、自分の考えを話したり、友達の考えを最後まで聞いたりしながら考え、表現できる子ども
- 【中】 言葉や数、式、図、表などを用いて、自分の考えをもち、理由を明確にして説明したり、友達の言いたいことに気を付けて聞いたりしながら考え、表現できる子ども
- 【高】 言葉や数、式、図、表を用いて、筋道を立てて考え、根拠を明確にして自分の考えをまとめ、分かりやすく伝えたり友達の考えを比べて聞いたりしながら考え、表現できる子ども
- 【特】 教師と一緒に考えながら、自分の考えをもち、表現できる子ども

★各学力調査結果との比較★

3年	国語	◎	算数	◎
4年	国語	▽	算数	○
5年	国語	—	算数	▽
6年	国語	▽	算数	—
	理科	▽		

授業改善の推進

【協働的な学びの充実】

- 「学習ルールやマナー」「算数の学習の進め方」「かしこくなる算数ノート」等を通じた、大浦スタンダードに沿った学びの定着
- 学年に応じた、対話的で深い学びの研究（考えを「広げる」「深める」問い返し）
- 発達段階に応じ、端末を活用し、個別最適な学びを充実
- 端末のICT機器の活用研修

【学習意欲の向上】

- 教材との出会い（提示の仕方の工夫・端末やICT機器の活用等）
- 全職員で、「主体性や意欲が育まれる授業展開」の共有を図る
- 端末のルール作りや、持ち帰りのマニュアル作成
- 特別支援教育研修会の開催
- 生活習慣に関するアンケート

【知識・技能の定着】

- 考えを「広げる」「深める」ために、考えを「書く」時間の充実（言語活動の充実）
- 基礎基本の定着と少人数指導
- 算数タイムの取組の充実（学力調査の結果分析から、課題が多かった問題への取組）
- 低・中・高別の「家庭学習のてびき」を作成し、宿題と自学等の家庭学習に関する資料の検討・啓発

◆課題を踏まえた、2学期以降の各学年で重点化する学習内容・取組

1年	【国語】「気持ちや理由を書く活動」を実践する。	2年	【国語】文の構成（はじめ・なか・おわり）に気を付けて、経験したことや自分の思いを書く力を育成する。
	【算数】「算数的活動の時間」を確保し、自分の考えを表現できる指導を行う。		【算数】自分の考えを、言葉や図などを使って表現する力を育成する。
3年	【国語】「主語・述語」を意識した文章を読む活動や、相手に伝わるように文章を組み立てて書く活動を実践する。（主語・述語・修飾語）	4年	【国語】文の構成を理解し、目的や条件に応じて書くことを意識した授業実践を行う。
	【算数】数学的表現を用いて考えた過程を振り返ったり、説明したりする活動を実践する。（算数ツールを進んで用いる）		【算数】「自分の考えを表現する力を育成することを意識した授業実践を行う。また、算数タイムでは、キュビナ活用を通して、学習内容の定着を図る。
5年	【国語】目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように工夫した書く活動を実践する。	6年	【国語】「目的や条件に応じて、自分の意見や根拠を明確にして書く」活動を位置付け、自分の思いを伝え合う。
	【算数】自分の考えを式、図、数直線などを用いて表し、根拠を明確にして説明したり、友達の考えを聞いたりして、数学的な見方・考え方を広げるための対話的な活動を実践する。		【算数】算数タイムや授業終末、単元終末では練習問題を解かせ学習内容の定着を図る。また、授業では、筋道を立てて考え、根拠を明確にして説明を書き、伝え合う。